

セミナー内容

10:20

防災科学技術研究所
講演者：李 泰榮 氏（い てよん）
（社会防災システム研究部門 主任研究員）



熊本地震から学ぶ災害情報の活用と防災対策の実践

地域の防災力を高めるためには、地域の災害に関する「専門知」「経験知」「地域知」の三つの知（知識・知恵）の共有と活用が重要です。これらの知を形にした「災害情報」の共有と活用について、熊本地震対応をはじめ、日ごろから全国の地域コミュニティと取り組んでいる実践事例より紹介します。

11:15

(株)パブリックビジネスジャパン
講演者：萩原直 氏
（代表取締役）



熊本地震—そのとき—市民として、指定管理者として

最大震度7を2度記録した「平成28年熊本地震」。当社、(株)パブリックビジネスジャパンは熊本県内15の公共施設を指定管理者として運営しています。各施設のスタッフ、そして自治体の職員も被災者となる中、公共サービスの代行者として避難所運営、また—市民としての被災経験についてお話しします。

12:10

東京大学生産技術研究所
講演者：加藤 孝明 氏
（都市基盤安全工学国際研究センター 准教授）



地域から始める防災まちづくりの進め方

共助の重要性は言うまでもありません。しかし、共助を実際に進めようと思うと、なかなか始められません。始めたとしても、いろいろな壁にぶつかります。本セミナーでは、共助をすすめていくときの基本スタンス、ヒントを講演者のこれまでの防災まちづくり、地域防災活動支援の経験を交えてお話しします。

13:05

日本放送協会
講演者：阿部博史 氏
（報道局遊軍プロジェクト ディレクター）



NHKスペシャルや災害時の緊急報道におけるビッグデータ活用最前線

災害時に私たちが慌てふためくのはなぜでしょうか。それは、刻々と変化する全体像と当事者それぞれに降りかかる個別事象を把握することが難しいからです。では、ビッグデータなどの膨大な情報をリアルタイムに処理し、正確に分析し、可視化できたとしたら。災害情報デザインについてもお話しします。

14:00

文部科学省 × (一社) 防災ガール
講演者：文部科学省 和田弘人氏 × (一社) 防災ガール 筒木愛美氏
（研究開発局地震・防災研究課 地震調査研究企画官）
（事務局 兼 情報発信チームリーダー）



隣り合わせの地震と防災ライフ～ゼロから始めるマナビとソナエ～

みなさんは「活断層」をご存知ですか？陸地の地震は「活断層」で起きることがほとんどで、日本のどこで起きてもおかしくありません。知らないだけで実は近くにあるかもしれない。そんな「活断層」についてマナビます。セミナーの後半には、普段からできる地震へのソナエをご紹介します。

14:55

(株)セブン&アイ・ホールディングス
講演者：堂本敏雄 氏
（総務部渉外オフィサー）



大規模災害発生時の事前準備→初動→収束まで（熊本地震の事例）

セブン-イレブン・ジャパンの取り組みを中心として、日頃からの大規模災害発生への備え、また発災時における対応や被災地支援の考え方について、昨年発生した熊本地震の事例をもとにご説明します。